

### 3 備中県民局協働事業審査委員会の開催

協働提案募集事業の審査・評価を行うとともに、備中県民局の協働事業全般についての意見、助言を求める目的で、平成22年度に設置したものの。

#### 平成24年度備中県民局協働事業審査委員会委員

- ・松畑 熙一（委員長） 中国学園大学・中国短期大学 学長
- ・岡崎 順子 岡山県立大学保健福祉学部 教授
- ・小川 孝雄 岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 所長
- ・古賀 桃子 ふくおかNPOセンター 理事長
- ・轟 理恵子 吉備国際大学社会学部 准教授
- ・永瀬 一雄 倉敷市市民協働推進部次長（兼 市民活動推進課長）

#### 【第1回】

日 時：平成24年5月7日（月）9:00～17:00

場 所：備中県民局会議棟第5～第6会議室

主な議題：平成24年度協働事業提案募集制度の第2次審査（プレゼンテーション）

結 果：応募のあった40事業のうち、第一次審査を通過した20事業（うち1事業は二次審査を辞退したためプレゼンテーションは19事業が実施）について審査した結果、13事業を選考した。（なお、選考された内1事業が辞退したため、実施した事業は12事業となった。）

#### 【第2回】

日 時：平成25年3月15日（金）13:00～16:30

場 所：備中県民局会議棟第1～第3会議室

主な議題：平成24年度に協働事業提案募集制度により選考された12事業の結果報告のプレゼンテーション及び全体の講評

結 果：協働事業に対し、下記のような委員会意見が出された。

- ・イベントをやっておしまいというのではいけない。どのように地域に広がるかが課題となる。
- ・2年、3年と継続している事業については、上昇が見られないと厳しい。
- ・事業が始まって3年目となるが、どんどん前進している。コストパフォーマンスが高まるよう互いに努力していきたい。

#### 【その他】

日 時：平成25年3月中旬

主な議題：平成25年度協働事業提案募集により応募のあった事業に係る第一次書類審査を、各委員が実施



結 果：審査の結果、応募のあった40事業のうち20事業が第一次審査を通過した。

## 4 職員研修の実施

平成24年度における第1回の研修として、浅口市との共催により、協働の目的や事例等を学ぶ協働のまちづくり講演会を開催した。

次に、第2回の研修として、企画力のスキルアップを目的とし、「行列のできる講座とチラシの作り方」と題した研修を開催した。

### (1) 協働の目的や事例を学ぶ研修

日時	平成24年11月29日(木) 14:30~16:30	
場所	浅口市健康福祉センター 3階多目的ホール(シリウス)	
参加者	県職員、市町職員、NPO職員、その他団体職員等 約50人	
講師	早瀬 昇(社会福祉法人 大阪ボランティア協会 常務理事)	
内容	講演「市民と行政のパートナーシップで“まち”の未来を描く」	
状況	 <p>○研修の様子</p>	 <p>○講師 早瀬 昇氏</p>

### (2) NPO等のスキルアップをテーマとした研修

日時	平成25年3月8日(金) 13:15~16:30	
場所	備中県民局会議棟 1階第1会議室	
参加者	県職員、市町職員、NPO職員、その他団体職員等 約55人	
講師	牟田静香(NPO法人男女共同参画おおた 理事長)	
内容	講演「行列のできる講座とチラシの作り方」	
状況	 <p>○募集チラシ表</p>	 <p>○募集チラシ裏</p>

## 5 夢づくり推進表彰の実施

### (1) 夢づくり大賞（知事表彰）

【表彰式】

日時：平成24年5月24日（木）

場所：県庁3階特別応接室



吉備国際大学たかはし子育てカレッジの実施

（吉備国際大学たかはし子育てカレッジ実行委員会 委員長 栗田 喜勝）



学識者や保育学生など、大学の知的資源を生かした幅広い子育て支援の取組を展開し、地域の総合的な子育て支援拠点として、地域の子育て環境の改善に大きく貢献した。

先進的な地域子育て支援拠点事業の実施

（子育て応援こっこ 代表 福光 節子）



商業施設を活用した取組や、産・学・民・官の協働による子育ての取組を実施することにより、地域全体の子育てへの関心を高め、地域の子育て環境の改善に大きく貢献した。

ビジネスおかみが「食のプロデュース」で町を活性化！！

（玉島おかみさん会企業組合 代表理事 根本 和子）



地域食材を生かした特産品等の開発、地域観光イベントの開催等、地元の人とのつながりを生かしたユニークな取組により、地域の活性化に大きく貢献した。

「榮農王国山光園」（新規参入者農場）における力強い経営体の育成

（榮農王国山光園経営安定推進会議 代表 内岡 龍己）



地元生産者が関係機関と協働して新規就農者の受入支援を行ったことにより、トマト・ピーマン産地を担う新規就農者を確保でき、地域に若い新規就農者が加わることで、過疎化・高齢化の進む地域の活性化にもつながった。

## (2) 夢づくり推進賞（県民局長表彰）

### 【表彰式】

日時：平成24年6月1日（金）

場所：県民局会議棟1階会議室



国産ジーンズ発祥の街「児島ジーンズストリート」  
（児島ジーンズストリート推進協議会 代表 真鍋 寿男）



ジーンズを核とした商店街の振興や観光客誘致を目指してメーカー、児島商工会議所等により設立。同商店街への出展企業の誘致活動等に取り組み地域活性化に貢献した。

竹林音楽祭 in まび～竹と音楽と自然～  
（竹林音楽祭実行委員会 代表 堀口 昭良）



平成20年度から、真備の竹をきれいなまま残していきたい、多くの人に竹林の魅力を知ってもらいたいと、箭田大塚古墳内の竹林の中で音楽を鑑賞するイベント「竹林音楽祭」を開催し、地域の魅力づくりに貢献した。

「医療と介護の連携強化に向けた地域の基盤づくり～医療から介護に手をさしのべて～」  
（倉敷地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会 世話人代表 浅利 正二）



脳卒中の医療連携において、維持期から在宅との地域医療連携に課題が残るため、関係機関の連携を推進し、退院後も住み慣れた地域で安心して必要な支援を受けながら在宅生活を継続していくことのできるシステムの構築と地域の基盤づくりに貢献した。

倉敷市立短期大学子育てカレッジの実施  
（倉敷市立短期大学子育てカレッジ実行委員会 委員長 江島 幹雄）



平成23年6月25日に備中県民局管内4箇所目（県内10箇所目）の子育てカレッジとなる「倉敷市立短期大学子育てカレッジ」を開設し、地域協働の観点に立って大学の知的資源を活用した取組を行い、地域ぐるみの子育てを積極的に推進した。

耕作放棄地の再生と新規特産物「マコモタケ」の産地化  
(マコモ同好会 代表 金田 常治)



農業委員有志が耕作放棄地解消対策として、湿田で栽培が可能なマコモタケの栽培実証を開始し、マコモタケ栽培に取り組んだ。町商工企画課の協力のもと、岡山西農協直売所や学校給食などをはじめ、町外店舗や町内飲食店などへ出荷するなど、地域特産物の振興と地産地消に貢献した。

B級グルメによるまちおこし  
(備中高梁食援隊 代表 島 一郎)



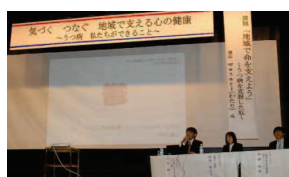
高梁地域のB級ご当地グルメとして復活したインディアントマト焼そば等の周知及び普及活動を通して、食によるまちおこしで高梁地域経済の活性化に多大な貢献をした。

特産品「ピオーネ干しぶどう」加工による農商工連携の取組  
(方谷の里農産加工部 部長 逸見 信之)



加工部設立以前から地域の有志による加工活動が展開され、県下で最初にテンペの製造販売を始めるなど加工への意欲は高かったが、新たな加工品開発に取り組もうと地域の特産物であるピオーネを使った加工を開始した。できた加工品は地元の菓子業者に原材料としても卸すなど、農商工連携による商品開発に貢献した。

気付く つなぐ 地域で支える心の健康 ～うつ病 私達ができること～  
(にいまフォーラム 代表 藤井 桂子)



新見地域は自殺率が高く、自殺対策は喫緊の課題であることを強く認識し、行政や関係機関と協働で、地域の人々に正しい理解を深め、早期発見、早期治療につながるように「心の健康シンポジウム」を開催し、自殺予防への気運を高めた。

エコミュージアムによる草間台地の活性化  
(草間台エコミュージアム推進協議会 会長 堀江 利明)



草間地域の文化や自然に触れたり、昔使われていた農機具の展示や地域の珍しい昆虫や植物等の生態の紹介や展示を行い、地域住民が地域のよさを再確認するとともに、草間地域のファンとなるように地域住民がエコミュージアム構想(屋根のない博物館)を提案し活動を行い、地域活性化に貢献した。